

【2026年度】さくらサイエンスプログラム (ABCコース)

【申請時】

以下のコメントにご注意の上、
交流計画書の作成をお願いします。

交流計画書

申請する時には「申請時」を選択し、「交流計画書」としてご提出ください。
「様式2」選択するとタイトルが「業務計画書」に変わります（契約時に使用）。

| 基本情報 | | |
|--|--|----------------|
| 受付番号 | (申請時記入不要) 受付番号欄は、申請時は記入不要です。 | |
| 【必須】交流計画のタイトル | ●●分野における日本の先端科学について学ぶ体験交流 | |
| 【必須】コース名 | 科学技術体験コース（Aコース） 募集要項に記載の各コースの目的や内容を踏まえ、コースを選択してください。 | |
| 【必須】招へい期間（日本入国日～出国日） | 2026/10/11 ～ 2026/10/17 7日間 | |
| 【必須】招へい前後に実施するオンライン交流の有無 実施する場合は実施日程（開始日～終了日） | 2026/10/1 ～ 2026/10/7 オンライン交流実施 | |
| 1) 受入れ機関概要 | | |
| 【必須】受入れ機関名（日本語） | 国立研究開発法人科学技術振興機構 | |
| 【必須】「修了証」記載機関名（英語） | JST 必ずしも、「受入れ機関名」欄の英訳と完全に一致する必要はありません。修了証に記載する名称であり、受入れを実施した機関名であれば略称等でもかまいません。 | |
| <p>募集要項等を参照し、各公募回ごとに設定した「実施時期」内の日程を記載してください。</p> <p>さらに、オンライン交流を実施するときはオンライン交流の日程も以下の日程内としてください。</p> <p>また、ビザ取得が必要な場合、JSTのビザ申請支援制度は招へい開始の10週間前までに招へい者の情報等に関する資料の提出が必要となります。</p> <p>招へい者リストも招へい開始10週間前を目途に提出をお願いします（採択結果通知時点で10週間を切る場合は早急に提出ください）。</p> <p>採択結果通知後、早い時期での招へい実施の場合、契約手続きも急ぎ行う必要がありますので、対応可能か事前に確認してください。</p> <p>●公募回ごとの実施時期 第1回 7月上旬以降～12月下旬頃 第2回 10月中旬以降～1月下旬頃 第3回 12月下旬以降～2月下旬頃</p> <p>●事後オンライン交流を実施する時期は、可能な範囲で出国日以降1ヶ月以内となるようご検討ください。</p> | さくらサイエンスプログラム推進本部 | |
| | 主査 | 科学 太郎 |
| | | 102-8666 |
| | | 東京都 千代田区四番町5-3 |
| | | 03-5214-8997 |
| | | aaa@jst.go.jp |
| | | 国際部 |
| | | 係長 |
| | | 技術 花子 |
| | | 102-8666 |
| | | 東京都 千代田区四番町5-3 |
| | | 03-5214-8997 |
| | | aaa@jst.go.jp |
| | | 国際部 |
| | | 係長 |
| | 技術 花子 | |
| | 102-8666 | |
| | 東京都 千代田区四番町5-3 | |
| | 03-5214-8997 | |
| | aaa@jst.go.jp | |
| | 国立研究開発法人科学技術振興機構 | |
| | 4030005012570 | |
| | T4030005012570 | |
| | 契約分任担当 | |
| | 契約 次郎 | |
| | 埼玉県 川口市本町4-1-8 | |

| | | |
|-----------|----|-------|
| 送出国/地域・人数 | 内訳 | 中国：8人 |
| | 合計 | 8人 |

シート3)の内容が自動入力されます。

| 基本情報 | | |
|---|---------------------------------|-------------------|
| 受付番号 | (申請時記入不要) | |
| 【必須】交流計画のタイトル | ●●分野における日本の先端科学について学ぶ体験交流 | |
| 【必須】コース名 | 科学技術体験コース (Aコース) | |
| 【必須】招へい期間 (日本入国日～出国日) | 2026/10/11 ~ 2026/10/17 7日間 | |
| 【必須】招へい前後に実施するオンライン交流の有無 実施する場合は実施日程 (開始日～終了日) | 2026/10/1 ~ 2026/10/7 オンライン交流実施 | |
| 1) 受入れ機関概要 | | |
| 【必須】受入れ機関名 (日本語) | 国立研究開発法人科学技術振興機構 | |
| 【必須】「修了証」記載機関名 (英語) | JST | |
| 【必須】実施主担当者 (交流を中心的实施する担当者) | 部署 | さくらサイエンスプログラム推進本部 |
| | 役職 | 主査 |
| | 氏名 | 科学 太郎 |
| | 郵便番号 | 102-8666 |
| | 住所 | 東京都 千代田区四番町5-3 |
| | 電話 | 03-5214-8997 |
| | E-mail | aaa@jst.go.jp |
| 【必須】連絡担当者 (JSTと連絡調整を行う担当者) | 部署 | 国際部 |
| | 役職 | 係長 |
| | 氏名 | 技術 花子 |
| | 郵便番号 | 102-8666 |
| | 住所 | 東京都 千代田区四番町5-3 |
| | 電話 | 03-5214-8997 |
| | E-mail | aaa@jst.go.jp |
| 【必須】事務担当者 (事務手続きを行う窓口担当者) ※連絡担当者と同一の場合も | 部署 | 国際部 |
| | 役職 | 係長 |
| | 氏名 | 技術 花子 |
| 【必須】契約法人情報 ※受入れ機関と同一の場合も記入 | 契約法人名 | 国立研究開発法人科学技術振興機構 |
| | 法人番号 | 4030005012570 |
| | 登録番号 | T4030005012570 |
| 【必須】実施責任者 ※実施協定書契約者押印欄に 記載する内容を記入 | 部署・役職 | 契約分任担当 |
| | 氏名 | 契約 次郎 |
| | 住所 | 埼玉県 川口市本町4-1-8 |

| | |
|------------|------------|
| (オンライン開始日) | (オンライン終了日) |
| 202●/●/● | ~ 202●/●/○ |

赤枠内のルールに従って、受入れ機関名と契約法人名を記載してください。

※1) 受入れ機関概要の「受入れ機関名 (日本語)」と「契約法人情報 契約法人名」の欄について、以下の例を参考に記入をお願いします。

| | 受入れ機関名 (日本語) | 契約法人情報 契約法人名 |
|-------------|----------------|------------------|
| 国立大学 | 大学名のみ | 国立大学法人○○大学 |
| 公立大学 | 大学名のみ | 公立大学法人○○大学 |
| 私立大学 | 大学名のみ | 学校法人○○ |
| 公立高校 | 東京都立○○高校 | 東京都 |
| 私立高校 | 高校名のみ | 学校法人○○ |
| 国立高等専門学校 | 高専名のみ | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
| 上記以外の高等専門学校 | 高専名のみ | 学校法人○○ |
| 地方公共団体 | 都道府県・市区町村名 | 都道府県・市区町村名 |
| 民間企業 | 株式会社○○ | 株式会社○○ |
| 上記以外の法人の例 | ○○財団法人○○財団 | ○○財団法人○○財団 |
| | 国立研究開発法人○○機構 | 国立研究開発法人○○機構 |
| | 大学共同利用機関法人○○機構 | 大学共同利用機関法人○○機構 |

※上記機関の下部組織(研究所、病院、センターなど)については「部署」欄に記入してください。
※「修了証(英文)」へ記載する名称については、受入れ機関の下部組織名称でも構いません。


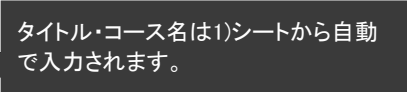
(参考)
国税庁法人番号公表サイト: <https://www.houjin-banqou.nta.go.jp/>
国税庁適格請求書発行事業社公表サイト: <https://www.invoice-kohyo.nta.go.jp/>

適格請求書発行事業者登録を行っている場合は登録番号を入力してください。
登録していない場合は「-(ハイフン)」を入力してください。

「契約法人名」以下の部署名を記載してください。

| 3) 招へい者 | | | | | | | | | | |
|---|------------|-------------|-----------------------------|--------------|------|--------------|------|-----|-----|----|
| 【必須】JST支援金による招へい者の送出し機関・属性別人数 ※引率者含む | | | | | | | | | | |
| | 送出し国 | 送出し機関名 | 高校生 | 大学生 | 大学院生 | ポスドク | 教員 | 研究者 | その他 | 総数 |
| 1 | 中国 | サイエンス大学 | | 1 | | 1 | | 1 | | 3 |
| 2 | 中国 | 科学研究所 | | 2 | 1 | | | | | 3 |
| 3 | 中国 | ●●大学 | | | 1 | | 1 | | | 2 |
| 参考) JST支援金による招へい者数の上限 (以下の表中の数字の単位は名) | | | | | | | | | | 0 |
| | コース (日数上限) | Aコース (7日以内) | | Bコース (21日以内) | | Cコース (10日以内) | | | | 0 |
| | 送出し機関数 | 1機関 | 複数機関 | 1機関 | 複数機関 | 1機関 | 複数機関 | | | 0 |
| | 主たる招へい者 | ~8 | ~8 | ~8 | ~8 | ~8 | ~12 | | | 0 |
| | 引率者 | ~1 | ~2 | ~1 | ~2 | ~1 | ~2 | | | 0 |
| | 総数 | ~8 | ~8 | ~8 | ~8 | ~8 | ~12 | | | 0 |
| JST支援金による招へい者人数 | | | 0 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 8 |
| 自己資金招へい者の送出し機関・属性別人数 ※JST支援金による招へい者と同様の要件を満たすこと。引率者含む | | | | | | | | | | |
| 自己資金招へい者の有無 | | | 自己資金招へい者あり (以下に詳細を追記してください) | | | | | | | |
| | 送出し国 | 送出し機関名 | | | | | | | | 総数 |
| 1 | 中国 | サイエンス大学 | | | | | | | | 1 |
| 自己資金による招へい者人数 | | | | | | | | | | 1 |
| 自己資金総額 (円) | | | 400,000円 | | | | | | | |

| 4) 受入れ体制 | |
|--|--|
| 受入れの準備状況、体制 | |
| 【必須】(1)安全かつ円滑に交流計画を実施するための準備や体制 ※渡航に必要な連絡調整および実施中のサポート人員、体制を記入してください。 | |
| 【記入ガイド】 以下について担当者(あるいは担当部署)を含めて記載してください。 ・渡航に必要な連絡調整のための人員が確保されていること ・滞在中の安全・円滑な活動、コミュニケーションのための人員が確保されていること 250字以内を目安に記載してください。 | |
| 【必須】(2)緊急時の対応手順・連絡体制 ※災害、ケガなどの緊急時対応を記入してください。 | |
| 【記入ガイド】 災害、事故、ケガ等の緊急時対応について、受入れ機関において、準用できる規程等がある場合には、「〇〇大学〇〇規程に基づき対応する」旨を含めて記入してください。準用する規程がない場合には、担当者(あるいは担当部署)と対応方法を記載してください。 250字以内を目安に記載してください。 | |
| 【必須】(3)来日・帰国時の支援 ※入国時オリエンテーションおよび出国見送りについて記入してください。 | |
| 【記入ガイド】 以下について担当者(あるいは担当部署)や方法を含めて記載してください。 ・入国時のオリエンテーション等、招へい者が安全に滞在するための情報提供が行われること ・出国時の空港等への見送りのための人員が確保されていること 250字以内を目安に記載してください。 | |
| 【出国空港までの見送り】 招へい者の離日時の出国空港までの見送りは必須です。 ※地方空港から日本国内の空港を経由して出国する場合は、出国する空港までの見送りが必要です。 (例:「地方空港→成田空港→送出し国」の場合は「成田空港」) | ※左記を確認して選択 |
| 【任意】共同実施者 ※交流計画を共同で実施する他の機関の担当者について特に明示したい場合には、機関名、役職、氏名などを記入してください。 | |
| 共同での実施や密に連携して受け入れる計画があれば記載してください。なお、単なる訪問先や見学先の担当者を記入する必要はありません。 | 出国空港までの見送りを確実に実行することを確認し、その旨を選択してください。 |

| 5) 実施内容 | |
|--|---|
| 【必須】分野 | 理工系  |
| 交流計画のタイトル | ●●分野における日本の先端科学について学ぶ体験交流  |
| コース名 | 科学技術体験コース（Aコース） |
| <p>【必須】Aコース：体験する先端的科学技術、 Bコース：研究課題（あるいはその方向性）、 Cコース：研修で身につける技術・能力 ※簡潔に2、3行程度(250文字まで)にまとめて記入してください。</p> <p>【記入ガイド】 各コースにおいて求められる内容を簡潔に2、3行以内(250字以内を目安)にまとめて記載してください。 明確に入力することが難しい場合はコースを見直してください。</p> | |
| 目的、趣旨 | <p>※選考基準を参照の上、交流計画の目的や趣旨を記入してください。選考基準に記載</p> <p>Bコースの場合は「共同研究活動で研究対象とする研究課題」について必ず記載してください。 Cコースの場合は「研修で身につける技術・能力」が、「送出国・地域においてニーズがあること」または「地球規模課題の解決に資すること」について必ず記載してください。</p> |
| 【必須】(1)交流計画の目的、趣旨 | <p>※各コースの「目的・内容」を踏まえて、提案する交流計画の背景、目的、効果、実施後の</p> <p>【記入ガイド】 700字以内を目安に記載してください。</p> |
| 【必須】(2)科学技術イノベーションに貢献しうる優秀な人材の養成・確保や国際的頭脳循環の促進について | <p>※交流計画の実施によって、招へい者による日本への留学、就職、共同研究等のための再来日や、招へい者と日本の教育研究機関との継続的な交流や国際的頭脳循環が促進されることについて記入してください（上記欄の記載内容と重複してもかまいません）。</p> <p>【記入ガイド】 700字以内を目安に記載してください。</p> <p>受入機関が研究教育機関である/ではない を選択してください。 研究機関機関である場合、「(3)日本と諸外国・地域の教育研究機関間の継続的連携・協力・交流の促進(グローバル化の促進)」に内容を記載してください。</p> |
| 【必須】教育研究機関の選択 | ※選択してください |
| <p>【受入れ機関が教育研究機関（大学、高専、高校または公的研究機関）の場合のみ必須】</p> <p>(3)日本と諸外国・地域の教育研究機関間の継続的連携・協力・交流の促進（グローバル化の促進） ※交流計画の実施を契機として、日本と海外の教育研究機関間の継続的連携・協力・交流の促進（グローバル化の促進）につながることを期待します。たとえば、外国語で学位取得に必要な単位を取得できる体制、外国と容易に共同研究等を行える体制の構築、具体的な取り組みを伴う協定の締結・強化などが促進されることについて記入してください（上記欄の記載内容と重複してもかまいません）。 ※受入れ機関において日本の学生(特に女性)などが関与し、交流が活性化するとともに、国際的な取り組みに一層の関心を寄せることが期待される場合、その内容を具体的に記入してください。</p> <p>【記入ガイド】 700字以内を目安に記載してください。</p> | |

| | |
|--|------------------------------|
| 実施内容とその意義 | |
| 【必須】(1)具体的な実施内容や主な訪問先が、交流計画の目的、趣旨に対して適切で効果的であるかについて | |
| 【記入ガイド】 700字以内を目安に記載してください。 | |
| <p>Bコースの場合は安全保障貿易管理の観点からも、特に共同研究活動の具体的な内容とその手法・プロセスを明確にする等により、招へい期間の必要性が分かるようにしてください。</p> <p>Cコースの場合は、いずれかの入力欄において、以下のa及びbが分かるようにしてください(一般的なコミュニケーション能力の習得に主眼を置いた活動は対象となりません)。</p> <p>a. 研修で身につける科学技術に関する具体的な技術・能力</p> <p>b. 特定の送出し機関に限定することなく、送出し機関が所在する国・地域において、a.の技術・能力についてニーズがあること、または、a.の技術・能力が地球規模課題の解決に資すること(上記欄で過不足なく記載されていれば重複した内容を記載する必要はありません)</p> <p>科学技術交流を目的とした外部施設等の見学やフィールドワークを交流計画に組み込むことは問題ありませんが、本プログラムの趣旨に鑑み、交流計画全体の大半を受入れ機関にて実施していただき、招へい者・送出し機関と受入れ機関との継続的な交流につながるような内容としてください。日程の大半を外部施設等の見学やフィールドワークが占める場合、その必要性ともたらず効果についての説明を記載してください。</p> | |
| 【オンライン交流を実施する場合は必須】招へい前後に実施するオンライン交流の実施内容 | |
| 【記入例】 招へい時の交流を一層効果的なものとするため、〇〇に関するオンライン講義を行い、今後の共同研究に関するディスカッションをオンラインにて実施する。 ●月●日AM 来日時 of 取り組み内容の事前説明 ●月●日PM 〇〇に関するオンライン講義(□□大学●●教授) 〇月〇日 招へい者による今後の共同研究に関するディスカッション | |
| オンライン交流実施日程(開始日～終了日) | 2026/10/1 ~ 2026/10/7 |
| 【必須】(2)招へい者が能動的に参加できる体験や交流が含まれているかについて | |
| 【記入ガイド】 700字以内を目安に記載してください。 | |
| <p>実施主担当者が新規である/ではない を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請をするのが今回初めてである場合⇒「新規の実施主担当者による申請」を選択してください。 ・申請をしたことがあるが採択されたことがない場合⇒「新規の実施主担当者による申請」を選択してください。 ・過去に申請し、採択されたことがある場合⇒「採択実績のある実施主担当者による申請」を選択してください。 | |
| (3)交流の発展・展開について | |
| ※実施主担当者の採択実績の状況 | ※選択してください |
| 【採択実績がある場合は必須】過去に実施した本事業での交流の結果を踏まえて発展させた申請である場合はその内容を具体的に記載してください。本事業以外の国際交流等の成果を踏まえて発展させた交流である場合はその内容を具体的に記載してください。 ※新規の申請の場合も本事業以外の国際交流等の成果を踏まえて発展させた交流である場合はその内容を具体的に記載してください。 | |
| 【記入ガイド】 700字以内を目安に記載してください。 | |
| (任意) 本事業の実施による再来日などの成果や他の事業での受入れ実績など、特記すべき実績があれば、記載してください。 | |
| 【記入ガイド】 700字以内を目安に記載してください。 | |

| 6) 日程 | | | | |
|--------------------|--|-------------------------|-------|--|
| 招へい期間 : | | 2026/10/11 ~ 2026/10/17 | 7 日間 | シート1)の内容が自動入力されます。 |
| 日にち | 実施内容 | 実施場所 | 宿泊先 | 当日連絡先 (氏名、電話番号) |
| 【1日目】 10月11日(日) | AM 羽田空港到着 | 羽田空港到着 | ●●ホテル | 科学太郎 090-aaaa-bbbb |
| | PM 科学技術振興機構訪問、オリエンテーション | 科学技術振興機構 | | |
| 【2日目】 10月12日(月) | AM 科学技術振興機構にて組織紹介・事業内容紹介 | 科学技術振興機構1階 大会議室 | ●●ホテル | 科学太郎 090-aaaa-bbbb |
| | PM 科学技術振興機構にて各国の科学技術研究の現状について各国学生による発表とディスカッションを行う | 科学技術振興機構1階 大会議室 | | |
| 【3日目】 10月13日(火) | AM ●●分野のシンポジウムに参加し、自身の研究内容について各自発表 | ●●ホテル多目的ホール | ●●ホテル | 科学太郎 090-aaaa-bbbb |
| | PM ●●科学館訪問、展示の見学および○○に関する実験ワークショップに参加 | ●●科学館 | | |
| 【4日目】 10月14日(水) | AM 移動 | 移動 | □□ホテル | 科学太郎 090-aaaa-bbbb ■■■■ 090-cccc-dddd |
| | PM □□大学訪問、■■研究室見学と○○の実験装置の操作体験 | □□大学 ■■研究室 | | |
| 【5日目】 10月15日(木) | AM 研究設備体験、実験、「●●分野の最先端の研究内容」に関する講義 (△△大学 ▲▲ ▲▲教授) | △△大学 ▲▲研究室 | □□ホテル | ■■■■ 090-cccc-dddd |
| | PM ▲▲研究室の学生による研究紹介と、研究内容に関する質問セッションおよびディスカッション | △△大学 ▲▲研究室 | | |
| 【6日目】 10月16日(金) | AM 5日間の学習内容まとめ、成果発表会に向け日本人学生と合同グループワーク | △△大学 ○○ホール | □□ホテル | ■■■■ 090-cccc-dddd |
| | PM 成果発表会にてグループ発表、意見交換会 | 「意見交換会」という名称に統一してください。 | | |
| 【7日目】 10月17日(土) | AM 日本科学未来館見学 空港へ移動 | 日本科学未来館 空港へ移動 | | ■■■■ 090-cccc-dddd |
| | PM 羽田空港出発 | 羽田空港出発 | | |
| 期間外 | <p>■シート1)で入力した実施期間に合わせて日程が表示され、それ以降は「期間外」となります。</p> <p>■すべての午前・午後枠の実施内容および実施場所を記載してください。</p> <p>■シート7)経費概算見積書に計上する費用の必要性がわかるように、交通費や見学料が発生する訪問先、謝金の支払いが発生する外部講師などについて、できるだけ具体的に記載してください。</p> | | | |
| 期間外 | <p>延長した期間における費用を自己負担することを条件として、さくらサイエンスプログラムを目的として実施期間を延長する場合、期間外の欄に「さくらサイエンスプログラムを目的として○○等を実施するため延長滞在し、●月●日出国」と記載してください。</p> <p>※詳細はよくあるご質問と回答集(FAQ)参照してください。</p> | | | |
| 期間外 | | | | |
| 期間外 | | | | |

7) 経費概算見積書

【任意】経費計画の特徴

| | |
|---|---|
| (1)経費の効果的・効率的な利用 (保有施設の活用、経済的な宿泊施設や交通手段の活用など) | |
| (2)経費の必要性について (招へい単価(2万円/人・日)、協力者3名を超える場合の必要性など) | 選考および経費の要否判断に用いますので、例示に該当するような事項があれば記載してください。 |
| (3)その他 | |

(国別渡航費内訳)

※注意事項 国際航空券費：* エコノミークラスに限る

国外滞在費：* 直行便のない国であって、航路上やむを得ず宿泊する場合のみ * 15,000円/人×泊以下 (食費も「泊」にまとめて記入)

査証手数料：* 自己申請を行う場合に計上可。実費 (上限3,000円/人)

* 日本への直行便がない国からの招へいに関し、通過査証 (トランジットビザ) 代の計上可。実費 (上限3,000円/人)

* 対象はJST支援金による招へい者のみ。

| 種別 | 国別渡航費 | 種別 | 単価 | 数量 | 単位 | 予算総額 | 用途など * 金額内訳は本欄には記入しない |
|-------------|----------------|----------------|--------|-----|-----|----------------------|----------------------------------|
| 直接経費 渡航費 | 1 中国 | 国際航空券費 | 80,000 | 3 | 人 | 240,000 | 〇〇→羽田 |
| | | 国外滞在費 (宿泊費・食費) | | | 人×泊 | 0 | 第三国経由便を利用される場合は、経由地も含めて記載してください。 |
| | | 査証手数料 | | | 人×回 | 0 | |
| | 2 中国 | 国際航空券費 | 80,000 | 2 | 人 | 160,000 | 〇〇→羽田 |
| | | 国外滞在費 (宿泊費・食費) | | | 人×泊 | 0 | |
| | | 査証手数料 | | | 人×回 | 0 | |
| | 3 中国 | 国際航空券費 | 75,000 | 3 | 人 | 225,000 | 〇〇→羽田 |
| | | 国外滞在費 (宿泊費・食費) | | | 人×泊 | 0 | |
| | | 査証手数料 | | | 人×回 | 0 | |
| | 4 ※選択してください | 国際航空券費 | | | 人 | 0 | |
| | | 国外滞在費 (宿泊費・食費) | | | 人×泊 | 0 | |
| | | 査証手数料 | | | 人×回 | 0 | |
| 5 ※選択してください | 国際航空券費 | | | 人 | 0 | 必要に応じて印刷範囲を調整してください。 | |
| | 国外滞在費 (宿泊費・食費) | | | 人×泊 | 0 | | |
| | 査証手数料 | | | 人×回 | 0 | | |

同一国内で経路が異なる場合は分けて入力いただいても結構です。

必要に応じて印刷範囲を調整してください。

7) 経費概算見積書

| 費目 | 種別 | 単価 | 数量 | 単位 | 予算総額 | JST支援金 | JST支援金各費目合計 | 分担金 | 使途など *金額内訳は本欄には記入しない | |
|-------------------------|--------------------------|--|------------------|---------|-----------|------------------|-------------|--------------------|--|-------------|
| 渡航費 合計 | 国際航空券費 | | | | | 5,000 | 625,000 | | 招へい者と協力者が借上げバスに同乗する場合は、招へい者の国内交通費へまとめて計上してください。 | |
| | 国外滞在費(宿泊) | | | | | 0 | | | | |
| | 査証手数料 | | | | 0 | 0 | | | | |
| 国内旅費 | 招へい者 | 国内交通費 | 55,000 | 1 | 式 | 55,000 | 55,000 | 641,000 | 羽田空港→科学技術振興機構→□□大学→日本科学未来館→羽田空港 | |
| | | 国内滞在費 * 15,000円/日/人以下 | 12,000 | 48 | 人×日 | 576,000 | 576,000 | | ○名×○日分 | |
| | 協力者 * 1イベント 原則3名まで | 国内交通費 | | | | | 0 | | 羽田空港→科学技術振興機構→□□大学→日本科学未来館→羽田空港 | |
| | | 国内滞在費 * 15,000円/日/人以下 | 0 | 0 | 人×日 | 0 | 0 | | ○名分 | |
| プログラム 経費 | 見学料 | * 協力者の帯同は原則3名 | 500 | 11 | 人 | 5,500 | 5,500 | 73,500 | ○日目 ●●科学館見学料 | |
| | 意見交換会費用 | * 開催は1回のみ、3,000円/人以下 * 招へい者8人名+協力者8人名まで | 3,000 | 16 | 人 | 48,000 | 48,000 | | ○日目 | |
| | その他 | 基礎枠 | * Aコース:20,000円まで | | | | 20,000 | | 20,000 | 実験消耗品(実験試薬) |
| | | 追加枠 | | | | | | | | |
| 謝金 | 通訳者 | * 高校生・高等専門学校生の招へいに限る * 1言語につき1イベントあたり1人まで | | | | 0 | 0 | | 外部講師であることがわかるよう記載してください。 | |
| | 講師・講演者 | * 対象者氏名を明記すること | 15,000 | 1 | 人 | 15,000 | 15,000 | | ○日目 △△大学 ▲▲ ▲▲教授 | |
| | TA・学生アルバイト | * 単価は1,700円/人×時間以下 * 7日×3人×8h=168 まで計上可能 | 1,000 | 30 | 人×時間 | 30,000 | 30,000 | | ○日間×○時間×○名 | |
| | ホームステイ謝金 | | | | | | | | 延べ時間数の根拠がわかるように記載してください。 | |
| 不課税取引などに係る消費税相当額 | | | | | 67,000 | 67,000 | 67,000 | | 渡航費・謝金 | |
| JST支援金(直接経費)計 | | | | | | | 1,451,500 | | 免税事業者は「免税事業者」と記載してください。 | |
| 一般管理費(JST支援金直接経費の10%以内) | | 一般管理費率 | 10.0% | | 145,150 | 145,150 | 145,150 | | 【招へい単価】※原則20,000円以下 (渡航費及び消費税相当額を除くJST支援金総計 ÷受入れ人数÷受入れ日数) | |
| 総計 | | | | | 1,596,650 | 1,596,650 | 1,596,650 | 0 | | |
| 渡航費・消費税相当額を除く直接経費: | | | 759,500円 | 受入れ総人数: | 8人 | 受入れ総日数: | 7日間 | 13,563円/人・日 | | |

原則、招へい単価は20,000円以下としてください。20,000円を超過する場合は、前シートの「経費計画の特徴欄」に理由を入力してください。

7) 経費概算見積書

| 費目 | 種別 | 単価 | 数量 | 単位 | 予算総額 | JST支援金 | JST支援金 名目合計 | 分担金 | 用途など *金額内訳は本欄には記入しない |
|--------------------|--|---|---------|------|-----------|------------------|--------------------|--------|--|
| 渡航費 合計 | <p>プログラム経費 その他 追加枠欄に金額を計上する場合は、用途など欄に表示されるメッセージにしたがって、下部「プログラム経費 その他に関する追加費用明細」を入力してください。 ただし追加費用を計上できるのは下記の場合に限ります。 ○科学技術体験コース(Aコース):オンライン交流に係る費用のために上限を超える場合 ○共同研究活動コース(Bコース)および科学技術研修コース(Cコース): 共同研究活動・研修実施に必須の消耗品あるいはオンライン交流に係る費用のために上限を超える場合</p> | | | | | | | | |
| 国内旅費 | <p>プログラム経費 その他の 追加枠の金額 と 追加費用明細の総額 が一致することを確認してください。</p> | | | | | | | | |
| 直接 経費 | プログラム 経費 | 意見交換会費用 *開催は1回のみ、3,000円/人以下 *招へい者8人名+協力者8人名まで | 3,000 | 16 | 人 | 48,000 | 48,000 | | ○日目 |
| | その他 | 基礎枠 | 20,000 | - | 一式 | 20,000 | 20,000 | 73,500 | 実験消耗品(実験試薬) |
| | | 追加枠 | | - | 一式 | | | | |
| | 謝金 | 通訳者 *高校生・高等専門学校生の招へいに限る *1言語につき1イベントあたり1人まで | | | 人×日 | 0 | 0 | | ○日目 △△大学 ▲▲ ▲▲教授 |
| | | 講師・講演者 *対象者氏名を明記すること | 15,000 | 1 | 人 | 15,000 | 15,000 | 45,000 | ○日間×○時間×○名 |
| | TA・学生アルバイト *単価は1,700円/人×時間以下 *日×3人×8h=0まで計上可能 | 1,000 | 30 | 人×時間 | 30,000 | 30,000 | | | |
| | ホームステイ謝金 | | | 人×泊 | 0 | 0 | | | |
| | 不課税取引などに係る消費税相当額 | | | | 67,000 | 67,000 | 67,000 | | 渡航費・謝金 |
| | JST支援金(直接経費)計 | | | | | 1,435,500 | | | |
| | 一般管理費(JST支援金直接経費の10%以内) | 一般管理費率 | 10.0% | | 143,550 | 143,550 | 143,550 | | 【招へい単価】※原則20,000円以下 (渡航費及び消費税相当額を除くJST支援金総計 ÷受入れ人数÷受入れ日数) |
| | 総計 | | | | 1,579,050 | 1,579,050 | 1,579,050 | 0 | |
| 渡航費・消費税相当額を除く直接経費: | | 743,500円 | 受入れ総人数: | 8人 | 受入れ総日数: | 7日間 | 13,276円/人・日 | | |

【プログラム経費の追加費用を申請する場合は必須】プログラム経費 その他に関する追加費用明細

| 費目 | 種別 | 品名等 | 単価 | 数量 | 予算額 | 総額 | 用途など *金額内訳は本欄には記入しない |
|--|------------------|-----|----|----|-----|----|-------------------------|
| 直接 経費 / プ ロ グ ラ ム 経 費 | その他 追加枠 | | | | 0 | 0 | |
| | ※以下の費用を計上してください。 | | | | 0 | | |
| | | | | | 0 | | |
| | | | | | 0 | | |
| | | | | | 0 | | |
| | | | | | 0 | | |
| | | | | | 0 | | |
| | | | | | 0 | | |
| | | | | | 0 | | |
| | | | | | 0 | | |

オンライン交流における講演謝金は、上段の謝金「講師・講演者」欄に計上してください。

【プログラム経費追加費用を申請する場合は必須】追加費用による取り組みの詳細
 ※費用を要する実験または技術研修、招へい前後に実施するオンライン交流の詳細な内容および交流計画における重要性・効果を記入してください。

8) 招へい者リスト

※申請時は、「送だし機関名」・「属性」など可能な範囲で入力してください。

| | | | | |
|-----------------|---|---------------|-----|------------------|
| 受付番号・日程・コース名 | (申請時記入不要) | 10/11 ~ 10/17 | 7日間 | 科学技術体験コース (Aコース) |
| 受入れ機関名 (日本語) | 国立研究開発法人科学技術振興機構 | | | |
| 「修了証」記載機関名 (英語) | JST | | | |
| 招へい者の要件 | (未確定) 招へい者の (1) 所属・年齢、(2) 来日経験の要件について未確定。 | | | |

| | JST支援 | 自己資金 |
|------|-------|------|
| 高校生 | 0人 | 0人 |
| 大学生 | 0人 | 0人 |
| 大学院生 | 0人 | 0人 |
| ポスドク | 0人 | 0人 |
| 教員 | 0人 | 0人 |
| 研究者 | 0人 | 0人 |
| その他 | 0人 | 0人 |
| 合計 | 0人 | 0人 |

※自己資金招へい者は枝番「#1」以降に記載してください。

送だし機関：0機関 (うち引率者) (0人) (0人)

| 枝番 | 氏名 | | 性別 (Male, Female, Other) | 生年月日 (yyyy/m/d) | 日本入国日 (yyyy/m/d) | 日本出国日 (yyyy/m/d) | 招へい 期間 | 送だし機関名 (日本語) | 国籍 | 属性 | 来日時 の年齢 | 引率者 | 備考 |
|----|-----------------|------|-----------------------------------|--------------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------------|----|----|------------|-----|----|
| | (パスポート表記・大文字半角) | (漢字) | | | | | | | | | | | |
| 1 | | | | | 2026/4/1 | 2026/4/7 | 7日間 | | | | | | |
| 2 | | | | | 2026/4/1 | 2026/4/7 | 7日間 | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | |

申請時は、「送だし機関名」や「属性」などを可能な範囲で記載してください。

| 以下自己資金招へい者 | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|--|--|--|----------|----------|-----|--|--|--|--|--|--|
| #1 | | | | | 2026/4/1 | 2026/4/7 | 7日間 | | | | | | |
| #2 | | | | | | | | | | | | | |
| #3 | | | | | | | | | | | | | |
| #4 | | | | | | | | | | | | | |
| #5 | | | | | | | | | | | | | |
| #6 | | | | | | | | | | | | | |
| #7 | | | | | | | | | | | | | |
| #8 | | | | | | | | | | | | | |
| #9 | | | | | | | | | | | | | |
| #10 | | | | | | | | | | | | | |

9) 改訂履歴

変更内容種別に【※】がついている項目は【様式5】業務変更承認申請書を提出すること

| 枝番 | 申請年月日 | 変更内容種別 | 変更内容 | 変更理由 | 変更が業務計画に及ぼす影響および効果 |
|----|------------------|--------|------|------|--------------------|
| 1 | | | | | |
| 2 | 申請時には入力しないでください。 | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |